

## 10歳 おめでとう



平成 11 年 5 月に開館した「わかくさ・プラザ」が今年で 10 周年を迎え、年記念式典が同所で行われました。式典ではくす玉を割って祝ったほか、アトラクションとして関バトンクラブによる演技

が披露されました。式典のあと、5 月の大型連休恒例の「ゴールデンウィーク・スペシャル」が、わかくさ・プラザ全館で開催され、多くの家族連れや子どもたちでにぎわいました。

# あんな事、こんな事



## 極地の世界を紹介

上之保生涯学習センターで「これが南極だ！」立体講演会が開催され、上之保出身の元南極観測隊隊員である青山朋樹さんが、南極での過酷な生活と活動や、ペンギンやアザラシの愛らしい姿など、映像を交えて紹介しました。また、観客が防寒着を試着して会場を回ったり、南極の氷を実際に溶かしたりするなど、体験や実験も行われました。

## 放流会場を花いっぱい

来年開催の「第 30 回全国豊かな海づくり大会」や今年 6 月 13 日開催のプレ大会に向けて、放流会場となる池尻・長良川の堤防脇にある約 500 平方メートルの花壇に、地元の池尻、小瀬、広見地区の住民 75 人が、マリーゴールドなど 5 種類 5,000 株の花を植えました。今後、地元の皆さんが花の管理や河川敷、周辺道路の清掃活動などをボランティアで行っていく予定です。





## 株杉太鼓の稽古始まる

板取小学校6年生9人が、5月13日から株杉太鼓の練習に取り組み始めました。太鼓の練習は12年前にクラブ活動として始まり、その後、6年生の音楽授業の一環として続けられてきました。児童らは板取株杉太鼓保存会代表の長屋馨さんから毎週1回、板取生涯学習センターで指導を受け、11月の地域参観日や市連合音楽会などで演奏を披露します。

## 絵本の世界へようこそ

安桜小学校に講談社主催「本とあそぼう 全国訪問おはなし隊」キャラバンが訪れ、1～2年生児童155人を対象に絵本の読み聞かせなどを行いました。児童らは、教室では大型絵本や紙芝居を使った読み聞かせを楽しんだり、屋外ではキャラバンカーに積まれた550冊の絵本の中からお気に入りの本を自由に持ち出し、青空の下で友だちと読んでいました。



## 多様な学習の機会を

専門学校、大学の講座を通して航空宇宙産業、自動車産業に関心を持ち、将来の技術者育成や地域活性化を目的として、関商工高校と中日本航空専門学校（迫間）および中日本自動車短期大学（坂祝町）がそれぞれ連携協定に調印しました。今後、3校は連携事業として公開講座の開催や講座受講に対する単位認定、オープンキャンパスの受け入れなどを行っていきます。

## 元気に育って帰って来てね

武芸川町高野の博愛歩道橋下・武儀川右岸で、全国豊かな海づくり大会にちなんで、長良川中央漁協の協力により博愛小学校5年生32人が稚アユを放流しました。放流されたのは5～10センチほどの稚アユ1万匹で、児童らは漁協組合員から手渡されたバケツから丁寧に武儀川へ放ちました。同校では、総合学習で武儀川をテーマとした環境学習に取り組んでいます。



## こぼれ話



6月はあじさいの花が咲き誇り、板取が1年で最も美しく映える季節です。今号の4ページで紹介しました「あじさい村」。今年のイベントはいつもとはちょっと違います。そのテーマはズバリ「海づくり」。関市の中でも最も山深い地域が海づくりを掲げてイベントを計画しています。そもそも関市で「全国豊かな海づくり大会」を開催する意義には「豊かな海は豊かな山や森、そして川が育む」という考えがあります。豊かな山や森を携え、清流板取川が流れる板取地

域が豊かな海を作ることを考える…今までにはない発想でさまざまなイベントが企画されています。C. W. ニコルさんの講演、植樹・放流体験など環境をテーマとした企画や、音楽ライブやバイクトライアル、アユ釣りなど多彩なイベントが盛りだくさんの2日間です。

過疎化が進む中、若者を呼び寄せ地域を元気にするため、実行委員会のメンバーや地元NPOの皆さんが何度も会議を重ねて準備を進めています。大自然やキャンプ場、温泉など魅力たっぷりの板取、そしてあじさいフェスティバルにぜひ足をお運びください。